

# (( (伝建群だより) ))

編集・発行

桐生市総合政策部重伝建まちづくり課重伝建係

Tel 0277-46-1111(内線346, 347)

Fax 0277-43-1001

E-mail [denkengun@city.kiryu.lg.jp](mailto:denkengun@city.kiryu.lg.jp)

平成28年3月1日発行 No.40

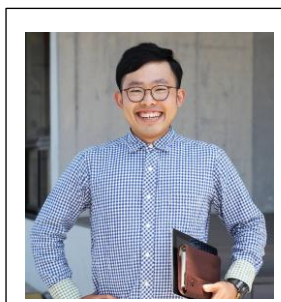
昨年12月6日(日)に実施された。  
**防災避難訓練のアンケート**が集計できました。  
結果については、裏面をご覧ください。

3月の第一週は**火災予防週間**です。まだまだ、寒い日が続きます。

ご自愛いただくとともに、**火の元にもご用心**ください。

## ～桐生消防からのお知らせ～

住宅用火災警報器の設置の周知のため、消防職員が保存地区内のお宅に伺います。  
期間は3月10日から20日を予定しております。 ※訪問販売ではありません。



この人ご存知ですか？

本町一丁目の建物を借りて、イベント等を開催していたのを拝見し、どんな人なのか？どんな事をしているのか？インタビューをしてみましたので、紹介させていただきます！！

Q1.自己紹介をお願いします。

東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科4年 佐藤亨 桐生市出身

Q2.現在、重伝建地区の建物を借りて、卒業研究をしているということですが、どのような研究をしているのですか？

伝建地区における「空き家問題の実態と提案」というテーマで、空き家に対し修理修景をうながすための活用提案を研究しています。

Q3.今回、重伝建地区で活動してみて、桐生の重伝建地区にどのような印象をお持ちですか？

研究を通して、桐生新町は多くの歴史的に価値のある建造物や工作物等が残り、文化、産業などたくさんの魅力があることに驚かされました。しかし、空き家も多くあり後継者不足や高齢化などの問題がわかり、歴史あるまちの維持に危機感を感じました。

Q4.すばり、重伝建地区のよいところはどこですか？

歴史が形として残っていること

Q5.重伝建地区に期待すること等、一言お願いします。

空き家を資源として活用し、地域全体の価値を上げ、訪れるたびに新しい発見のある「まち」になってほしい。

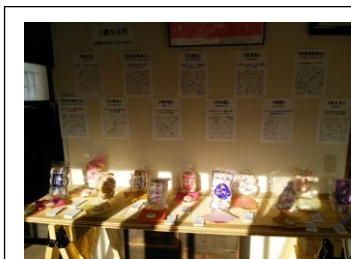
★次回  
イベント

**3月5日(日) 9:00～14:00**

7店舗が出店予定。開催場所は machiya(元とらや) 本町一丁目1-4。



▲マルシェ開催(2月6日の様子)



▲市内で販売されている花パン

写真が見難くてすみません

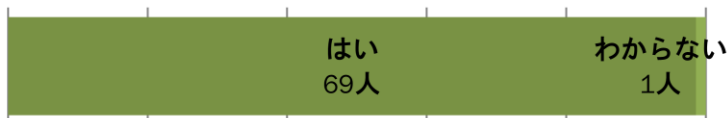
～重伝建のまち桐生～

伝統と創造 粋なまち 桐生

## 12月6日実施 避難訓練アンケート集計結果

参加者 88名 アンケート回答者 77名

1. 自宅から一時避難場所(集会所、ちよいにげ広場)まで、速やかに避難することができましたか。



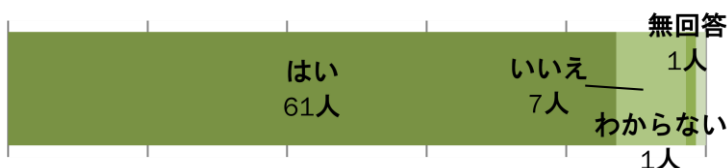
2. 一時避難場所から北小学校まで、誘導に従って適切に避難することができましたか。



3. 本日の訓練で使った避難経路上に、実際の地震発生時には危険だと感じた場所がありましたか。



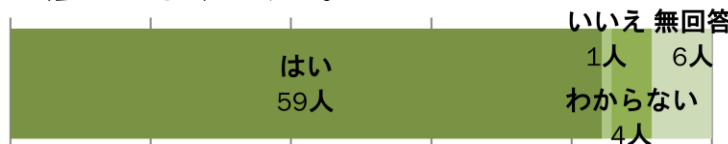
4. 避難の際は近所の人達と声をかけ合いましたか。



5. 避難の際に近所の人などに手助けをお願いしたか、手助けされましたか。



6. 本日の訓練の経験は、実際に災害が発生した時に活かせそうですか。



7. 本日の訓練を経験して、災害時に課題にないそうだと感じたことや不安なことはありますか。



●避難訓練について●参加者 88名  
住み慣れた地域での訓練ということもあり、概ね速やかに避難することができたようです。また、今回の訓練では、足腰が痛いといった方にもご参加いただけましたので、声をかけあったり、必要な手助けをしたりとコミュニケーションを図りながら、訓練を行うことができました。災害時に混乱状態になりにくいよう、日頃からのコミュニケーションを継続していきましょう。いざという時には、普段の経験が役に立つといます。色々な災害を想定した訓練を行ったり、今回課題であると感じたことを地域の方々と共有化したり、話し合うこと等により、最近よく耳にする想定外の災害に備え、円滑な避難が行えるよう、災害に対する経験を増やしていきましょう。

●防災訓練について●参加者 126名  
訓練を通して災害の疑似体験等ができたようです。継続的に訓練を行うことにより、防災力を身に付け、災害に備えましょう。

### 写真探してます

本町通りの石田理髪店から北小学校に続く通りの古写真を探しています。

道路が拡幅される前の様子がわかる写真があれば、いつの時代でも歓迎です。

そして、その道の思い出話も併せてお伺いできると、ありがたいと思います。

ご協力いただける方、重伝建係か伝建まちなか交流館までご連絡ください。